

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和5年12月7日(2023.12.7)

【公開番号】特開2023-58901(P2023-58901A)
【公開日】令和5年4月26日(2023.4.26)
【年通号数】公開公報(特許)2023-078
【出願番号】特願2021-168690(P2021-168690)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月29日(2023.11.29)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項1】

遊技可能な遊技機であって、
表示手段を備え、
前記表示手段は、

音量値に対応する音量値表示を表示可能であり、

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過する前に始動条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、可変表示を行うことが可能であり、

30

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過した場合、音量値表示を表示可能であり、その後、始動条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、可変表示を行うことが可能であり、

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過した場合、音量値表示を表示可能であり、その後、デモンストレーション表示の表示開始条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、デモンストレーション表示を表示可能であり、その後、デモンストレーション表示が時間経過により終了した場合、音量値表示を表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

40

請求項1に記載の遊技機は、
遊技可能な遊技機であって、
表示手段を備え、
前記表示手段は、

音量値に対応する音量値表示を表示可能であり、

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定

50

期間が経過する前に始動条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、可変表示を行うことが可能であり、

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過した場合、音量値表示を表示可能であり、その後、始動条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、可変表示を行うことが可能であり、

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過した場合、音量値表示を表示可能であり、その後、デモンストレーション表示の表示開始条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、デモンストレーション表示を表示可能であり、その後、デモンストレーション表示が時間経過により終了した場合、音量値表示を表示可能である

10

ことを特徴としている。

対応図面：図 3 0

20

30

40

50